



平成31年2月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
email: pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
HP: wwwpiakaiso.sakura.ne.jp

春は駆け足でやってくるかな

不便でもいいことが

不便だからいいことがある。そんな『不利益』を提唱する工学博士川上浩司さんの著書に、ある介護施設では身体機能を低下させないために、あえて段差を設けて身体機能の低下を防いでいると。確かにバリアフリーの施設に入所した高齢者は、足があがらなくなり、づり足で歩くようになり、一寸したことで転倒しやすくなると。

東大阪市のコンビニが、夜間の従業員の確保が難しく、奥さんと店主で長時間勤務を続け、奥さんが過労で亡くなつた。勤務も限界を超えた為24時間の営業を止め、夜間客の少ない深夜1時から朝の6時まで店を閉めることにした。ところが、本部から認められず24時間営業をしないと違約金1700万円を請求された。確かに、朝7時か



ら夜11時まで営業をしてくれるコンビニが出来た時は便利になったと喜んだが、私たちも

「眠らない」という、何時でも欲しいものが買えるビジネスを考えないといけない世の中になってきたのだろうか。私たちは、便利過ぎるよりも、少々不便な方が身体にはいいのかもしれない。

心のバリアフリー

今から30年ほど前の話です。0歳と2歳の娘を連れて夫に会いにアメリカにいった時の話です。子連れには日本の飛行機がいいと言われ、往復日本の飛行機を使いました。ロスの空港では、入国の審査も誰も並んでいないゲートに案内され、入国審査もあつという間に終了。更に驚いたことは私たちのスーツケースだけがターンテーブルの上を回っていたのです。待たされることなく待ち合わせ場所に行くことが出来ました。成田では、すべてがファーストクラスから。入国審査も長い列に並び動くことが出来ません。スーツケースも待てども出てきません。子供たちがぐづり出し床で寝てしまい散々な目に合いました。

アメリカでは、街中を歩いて居ても段差があるところでは見知らぬ男性がベビーカーを運んでくれたり、バス停では、バスの中から降りて来てはベビーカーをバスに乗せてくれました。子供を連れてトイレの長い列の後ろに並ぶと、先頭の女性が「チェンジ」と言って先頭に並ばせてくれるなど、子連れでも困ることがありませんでした。当時の日本では考えられないほど弱者には優しい心のバリアフリーが浸透している国でした。相手を思いやる心のバリアフリーは大事ですね。

3月の予定

3月 5日 (火)	うたごえ広場	2時～4時	ショッピングセンターリブラ1階
3月 15日 (金)	家族会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
3月 20日 (水)	笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
3月 24日 (日)	映画会	10時30分～	ショッピングセンターリブラ1階
問い合わせ先	龍ヶ崎市回想法センター	080-4209-5708	担当 赤嶺